

「令和3年度開催実績」について

1 目的

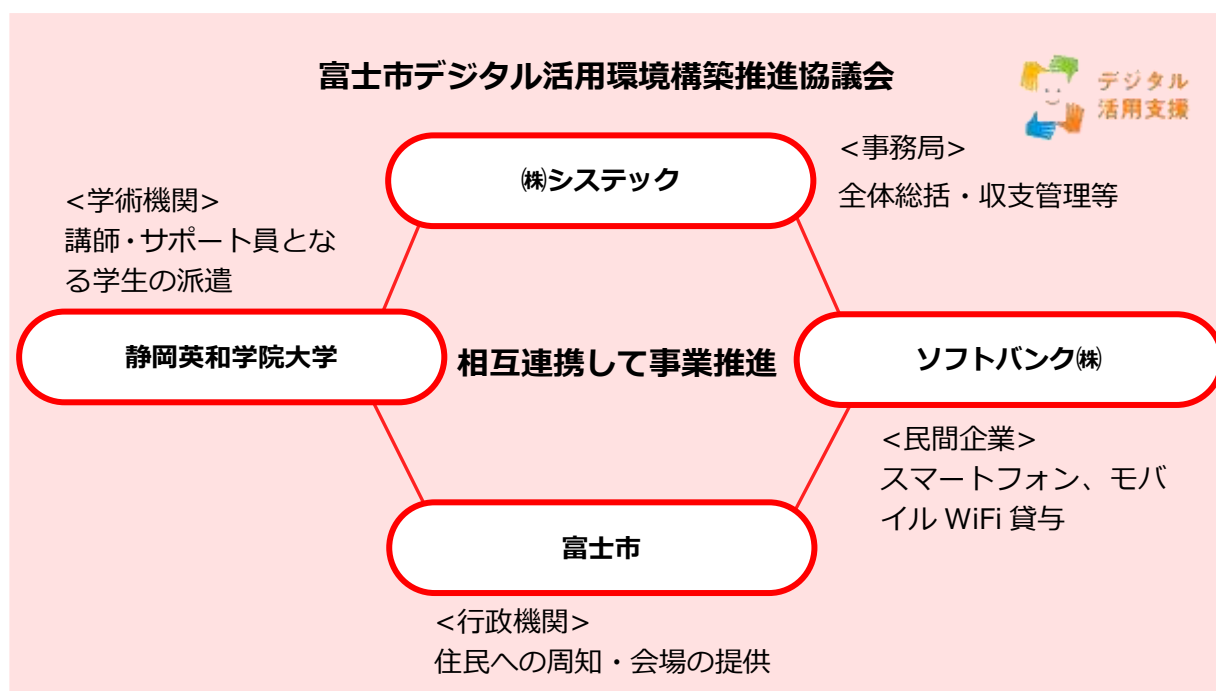
現在、インターネット検索や地図アプリ、電子商取引（ECサイト）、キャッシュレス決済など、あらゆる場面でスマートフォンが利用されている。行政サービスについても、市役所を訪れることなく申請等ができるよう、デジタル化に取り組んでいる。

しかし、スマートフォンが苦手な人は、こういった便利なサービスの恩恵を受けられないといった「デジタル格差」が生じている。

こうしたことから、デジタル格差解消の取組として、産学官民の連携事業「初心者向けスマホ教室・相談会」を開催する。

なお、本事業は総務省の「デジタル活用支援推進事業」の採択を受けて実施する。

2 実施体制



3 実施内容

- | | |
|----------|---|
| (1) 実施期間 | 令和3年10月1日（金）～12月17日（金） |
| (2) 実施場所 | ■初心者向けスマホ教室
市内まちづくりセンター（24か所）
■スマホ相談会
富士見台、吉永、今泉、富士南、岩松北まちづくりセンター（5か所） |
| (3) 内 容 | Wi-Fiの接続方法、インターネット検索、Google Map、QRコード読み取り、アプリのインストールなど |

- (4) 講師等
 - 講師（計5名、内訳：3年生1名、4年生4名）
 - サポート員（計17名、内訳：1年生2名、2年生2名、3年生6名、4年生7名）
- (5) 機材
 - ポケットWi-Fi4台（ソフトバンクより無料貸与）
 - パソコン、プロジェクター等

4 広 報

(1) 市長定例記者会見

8月4日に実施した市長定例記者会見にて、初心者向けスマホ教室参加者募集について富士記者クラブ加盟の報道機関に対し発表。



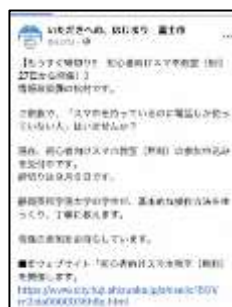
(2) 広報ふじ 8月5日号

広報ふじ 8月5日号の6ページに募集記事を掲載し、全戸配布。



(3) 富士市ウェブサイト等への掲載及び全まちづくりセンターへポスター掲示

富士市のウェブサイトへ初心者向けスマホ教室の情報を掲載するとともに、市公式フェイスブックへ投稿しPR。
まちづくりセンターへ、広報ふじと同じデザインのポスターを掲示。



■教室

全24回開催 総参加者数268人

■相談会

全5回開催 総参加者数81人

■教室について

当初9月27日にスタートすることで計画していたが、9月末までが緊急事態宣言期間となったことから、10月1日の鷹岡まちづくりセンターが教室初日となった。

計画では、教室参加者3人に対し1人のサポート員(大学生)で対応する予定であったが、初回の教室で、参加者2人に対して1人の対応が必要であることがわかり、以降その体制で実施した。

**■相談会について**

スマホ教室参加者のうち希望者が参加するスマホ相談会は、当初1人20分で対応する予定であったが、LINEのインストールやアカウント設定などを実施すると40分程度かかることから、以降1人に対し40分程度で実施した。



10月7日付静岡新聞朝刊

デジタル格差解消 スマホ教室始動

富士市

デジタル格差解消に向け富士市の「初心者向けスマホ教室」が始まった。初回は福岡まちづくりセンターで開かれ、70代以上の高齢者がスマートフォンやタブレットの活用方法を学ぶ。12月中旬まで市内25会場で開催される。

教室は、行政や民間が連携し、高齢者などが取り残されない環境を整えることを目的に、市や民間が連携して「初心者向けスマホ教室」を開催している。12月中旬まで市内25会場で開催される。教室は、行政や民間が連携し、高齢者などが取り残されない環境を整えることを目的に、市や民間が連携して「初心者向けスマホ教室」を開催している。



高年齢世代にスマートフォンの使い方を教える。西伊豆町観光協会が主催。富士市の福岡まちづくりセンター。

デジタル格差解消に向け、富士市が「初心者向けスマホ教室」を開催している。12月中旬まで市内25会場で開催される。教室は、行政や民間が連携し、高齢者などが取り残されない環境を整えることを目的に、市や民間が連携して「初心者向けスマホ教室」を開催している。

富士ニュース

デジタル格差解消へ

富士市 初心者向けスマホ教室

富士市デジタル活用環境構築推進協議会はデジタル格差解消の第一歩として、10月から12月にかけて、初心者向けスマホ教室を市内のまちづくりセンターで開催している。70・80代を中心に500人以上が受講を申請し、市と包括連携協定を結ぶ静岡英和学院の学生が1人につき2名程度の人を担当し、スマホを愛さるよう、初心者から丁寧に指導している。

教室は昨年5月に小まなみ市民センターで開催された。初回は福岡まちづくりセンターで開かれ、70・80代を中心に500人以上が受講を申請し、市と包括連携協定を結ぶ静岡英和学院の学生が1人につき2名程度の人を担当し、スマホを愛さるよう、初心者から丁寧に指導している。

デジタル格差解消の第一歩として、10月から12月にかけて、初心者向けスマホ教室を市内のまちづくりセンターで開催している。70・80代を中心に500人以上が受講を申請し、市と包括連携協定を結ぶ静岡英和学院の学生が1人につき2名程度の人を担当し、スマホを愛さるよう、初心者から丁寧に指導している。



大学生のアドバイスでスマホを操作 (提供写真)



講義形式でWi-Fiの仕組みを説明(別)

デジタル格差解消の第一歩として、10月から12月にかけて、初心者向けスマホ教室を市内のまちづくりセンターで開催している。70・80代を中心に500人以上が受講を申請し、市と包括連携協定を結ぶ静岡英和学院の学生が1人につき2名程度の人を担当し、スマホを愛さるよう、初心者から丁寧に指導している。

富士市デジタル活用環境構築推進協議会はデジタル格差解消の第一歩として、10月から12月にかけて、初心者向けスマホ教室を市内のまちづくりセンターで開催している。70・80代を中心に500人以上が受講を申請し、市と包括連携協定を結ぶ静岡英和学院の学生が1人につき2名程度の人を担当し、スマホを愛さるよう、初心者から丁寧に指導している。

10月14日付
富士ニュース

7 トップリーダー会議

- (1) 実施期間 令和3年11月1日(月) 15時～
- (2) 実施場所 富士市役所 8階 特別応接室
- (3) 内容
 - ・「初心者向けスマホ教室・相談会」について
 - ・デジタル格差解消に向けた展開について
- (4) 出席者
 - 富士市長 小長井義正
 - 株式会社エンチャー 代表取締役社長 遠藤秀男
 - 静岡英和学院大学 学長 柴田敏
 - ソフトバンク株式会社 CSR本部 東海・関西・北陸地域CSR部 参与 東海担当 間瀬拓二

11月5日付
富士ニュース



11月7日付静岡新聞